

授業コード	D8217ZZ		
科目名	ヨーロッパの美術		
担当者	松本 典昭		
単位数	2	レベル	
開講期間	2015年度 前期	開講曜日	月曜4限
開講キャンパス	本キャンパス		
授業の到達目標およびテーマ	<p>テーマ:ルネサンスの美術</p> <p>ヨーロッパの美術を「異文化理解」の一手段としてとりあげる。19世紀以前の美術は単に目で見えるものではなく、目で「読む」ものであった。異文化の「文法」を知らないと正しく作品を「読む」ことはできない。美術を通して、国際的教養人を育成することを目標とする。</p>		
授業の概要	本講義では、文化の文法の基礎を学びながら、美術作品を読む練習をする。毎回スライド使用。		
授業計画	<p>"第1回 ジョット、ルネサンスの夜明け</p> <p>第2回 挫折の天才建築家ブルネレスキ</p> <p>第3回 革命的彫刻家ドナテッロ</p> <p>第4回 マザッチョと遠近法の誕生</p> <p>第5回 メディチ家の黄金時代</p> <p>第6回 メディチ家の花形画家ポッチェリ</p> <p>第7回 万能の天才レオナルド</p> <p>第8回 苦悩の彫刻家ミケランジェロ</p> <p>第9回 聖母の画家ラファエロ</p> <p>第10回 危機の芸術、マニエリスム</p> <p>第11回 イエス・キリストの生涯(前編)</p> <p>第12回 イエス・キリストの生涯(後編)</p> <p>第13回 二人のマリアと聖人たち</p> <p>第14回 天国と地獄</p> <p>第15回 神話画の読み方"</p>		
授業外学習(予習・復習)	授業で紹介した作品について、各自で調べて復習しておくこと。		
授業の方法と学習上の留意点	毎回、パワーポイントを使用して授業をおこなうので、静かに鑑賞し、必要事項をノートにとること。		
成績評価基準	3分の2以上の出席が必要。遅刻、早退は欠席扱いとする。評価は出席、受講態度、授業中の小テストなどで総合的に評価する。		
教科書	なし。		
参考文献	なし。		
関連して受講することが望ましい科目			
シラバス分野	学科科目		